

総合計画体系	事務事業名	企業チャレンジ推進事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
	施策名	〈08〉チャレンジが生まれるまち(人材の育成・確保)	所属G	チャレンジ創生G	課長名	鳥谷 健二
	基本方針	〈022〉子ども、若者、大人、企業による地域や社会を革新する“ソーシャルチャレンジ”を多分野で生み出します。	担当者名	武田 堅治	電話番号	0854-40-1011 (内線) 2332
	重点テーマ	〈0023〉チャレンジ支援制度の充実・強化	予算科目	会計 0 1 1 0 0 1 項 目 中 事 業 中 事 業 0 5 3 5 2 0	大 事 業 名 企 画 総 務 管 理 事 業	中 事 業 名 企 業 チャレンジ推進事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
① 地域自主組織、市民 ② 市内外の企業	① 企業と連携・協働して地域課題解決に取り組む ② 社会課題を解決する新事業を開発する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (R元 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	・社会課題の解決をめざす企業等を誘致し、地域自主組織や市内事業者等とともに、地域課題解決に資する新たな事業創出を図る。 ・企業チャレンジを推進するための人材を配置し、具体的な事業案件(事業モデル)づくりと、企業チャレンジの制度設計の具体化(地域とのマッチングの方法、企業からの資金・人材拠出のルールづくり等)を進める。
④ 主な活動 R6年度実績(R6年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・企業との連携協定の締結 ・各企業の事業案件サポート ・企業等からの問い合わせ、視察対応 ・企業の社員研修の受入れ ・企業チャレンジ推進連絡会の開催	・地域自主組織への個別訪問・ヒアリングを実施し、地域課題・ニーズの洗い出しと、企業チャレンジへの理解促進を図った。

(2) 事務事業の成果指標

成果指標	単位	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(実績)	R7年度(計画)
ア 連携協定を締結した企業数	件	3	1	0	2
イ 社会実装件数(実証事業を経て、新たに地域にサービス提供された事業数)	件	0	2	1	1
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R6年度決算)	② コストの推移	単位	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(決算)	R7年度(計画)
旅費 400千円 委託料 25,449千円 負担金(地域活性化起業者) 8,400千円 補助金(協力隊) 1,046千円 合計 35,295千円	財源内訳	千円	900	1,760	21,596	1,760
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	990	2,160	2,159	2,000
	一般財源	千円	11,200	17,952	11,540	5,600
	事業費計	千円	13,090	21,872	35,295	9,360

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・デジタル人材育成「デジ×チャレ」では、学習から就職までを支援し、28名が受講、うち5名の就職が決まり、8名の就職支援を引き続き行っている。 ・新スマート物流の構築に向けて、地域住民・事業者へのヒアリングを基に、掛合町内で実証を行った。今後、共同物流や地域向けサービスを構築し、自立化できるよう展開していく。 ・令和5年度にアルブロンと連携協定を締結し、脱炭素化に関する取り組みについて、社会実装化した。
② 事業実施するうえでの課題	・実証段階から本格的な事業展開に進むには、実施体制づくりと資金調達が課題となるため、これらを支援する仕組みを検討していく必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・引き続き、地域自主組織と連携を深め、実証事業の実施や新規案件の組成を図っていく。

事務事業名		コミュニティキャンパス推進事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
総合計画体系	施策名	(08)チャレンジが生まれるまち(人材の育成・確保)	所属G	チャレンジ創生G	課長名	鳥谷 健二
	基本方針	(023)誰もが挑戦しやすい環境づくりに取り組みます。	担当者名	山岸 美貴	電話番号	0854-40-1011 (内線) 2333
	重点テーマ	(0022)雲南での暮らしや働くスキルを学べる仕組みの構築	予算科目	会計 0 1 1 0 0 1 項 目 中 事 業 名 0 5 3 5 1 6	大 事 業 名 企 画 総 務 管 理 事 業 中 事 業 名 コ ミ ュ ニ テ ィ キ ャ ン パ ス 推 進 事 業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
大学生	・積極的に地域の方と交流する。 ・雲南市の地域課題を知り、地域活動に取り組む。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H27 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	地域課題に関心のある大学生を対象に、地域でのフィールドワークや市内事業所・地域団体でのインターンシッププログラムを提供する「雲南コミュニティキャンパス」に取り組む。これを通じて大学生に学びと成長の場を提供すると共に、雲南市や地域との関係構築を図る。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R6年度実績(R6年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・U.C.C Camp(2回) ・U.C.C Zemi(2回) ・まちまるごとインターンシップ(2回) ・スペシャルチャレンジ伴走支援(4人)	H28年度より本格的に実施し、市内での活動に複数回参加する学生数は倍増している。コロナ禍によりプログラムの見直しが必要となり、オンラインの活用など学生が参加しやすいプログラムに見直しを図った。R5年度からは新たに長期インターンシップを導入し、学生と事業所・地域団体との継続的な関係構築が図られるよう制度の充実を図っている。

(2) 事務事業の成果指標

成果指標	単位	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (実績)	R7年度 (計画)
ア UCCに複数回参画した学生数	人	27	10	7	10
イ UCC参加をきっかけにU・ターンの学生数	人	1	2	3	5
ウ UCCに協力を得た市内事業者数(R5年度から)	社		15	24	25
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R6年度決算)	② コストの推移	単位	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(決算)	R7年度(計画)
・報償費 3,470千円 ・旅 費 238千円 ・委託費 10,933千円 合計 14,641千円	財源内訳	国庫支出金	千円 2,215	2,721	4,966	4,429
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円 2,339	7,230	5,205	4,629
		一般財源	千円 0	2,722	4,470	3,400
		事業費計	千円 4,554	12,673	14,641	12,458

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	令和6年度は、連携協定を締結している島根大学・県立大学からの学生を含めて、延べ41名が参加した。うち3名が市内出身学生であり、今後も雲南市に関わり持ち続けたい意志を持っていた。学生が多くの地域の人と触れ合うことで、活動後も雲南市と関係を継続していくことのできるプログラムとなっているため、引き続き継続していきたい。
② 事業実施するうえでの課題	人材還流を目指したプログラム設計ができていたため、より多くの学生の参加を促したい。市内の滞在拠点では、宿泊の受け入れ人数が限られており、参加人数が多くなると受け入れが難しくなる可能性がある。協力隊インターン制度を活用しており、特交対象外地域からの学生の受け入れが難しい。
③ 課題解決に向けた改革改善等	本事業をより多くの学生に知ってもらうため、広報活動を行う場を広げていく。学生が滞在可能な拠点を整備しようとする団体への支援を行う。

総合計画体系	事務事業名	若者チャレンジ推進事業(課題解決人材育成確保)	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
	施策名	(08)チャレンジが生まれるまち(人材の育成・確保)	所属G	チャレンジ創生G	課長名	鳥谷 健二
	基本方針	(023)誰もが挑戦しやすい環境づくりに取り組みます。	担当者名	山岸美貴	電話番号	0854-40-1011 (内線) 2332
	重点テーマ	(0023)チャレンジ支援制度の充実・強化	予算科目	会計 0 1 1 0 0 1 項 目 0 5 3 5 1 9 大 事 業 名 企 画 総 務 管 理 事 業 中 事 業 名 若 者 チャレンジ 推 進 事 業		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
社会起業家や地域貢献等を志す若い人材	雲南市のまちづくりに貢献してもらう
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H23 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	地域課題解決を実践する若手人材の育成確保を進めるため、スペシャルチャレンジ・ホープの申請者の掘り起こしや伴走支援、先輩起業家をゼミ長とした起業家コミュニティ「Seedラボ」の運営、起業型地域おこし協力隊制度を活用した人材誘致に取り組む。 また、全国の先進自治体や都市圏NPOと連携協働し、都市圏で地方起業に関心ある人材とのネットワーク構築や人材誘致を進める。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R6年度実績(R6年度に行った主な活動) ・スペシャルチャレンジホープの伴走支援 ・起業家コミュニティSeedラボの運営(6ゼミ) ・起業型地域おこし協力隊の募集・フィールドワーク・伴走支援 ・ローカルベンチャー(LV)推進協議会との連携・協働による都市圏人材とのネットワーク構築及び人材誘致 ・委託業務契約等	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 起業支援を行ってきた幸雲南塾を、R5年度より先輩起業家が主導する学び合い型のコミュニティ「Seedラボ」へ移行し、チャレンジの土壌を地域全体・多分野へ広げていくよう取り組んでいる。起業家支援としては、H30年度にスペシャルチャレンジ制度を創設し、R4年度からは起業型地域おこし協力隊制度を活用した人材誘致に取り組んでいる。

(2) 事務事業の成果指標

成果指標	単位	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(実績)	R7年度(計画)
ア 課題解決型人材の増加数	人	129	222	204	250
イ 課題解決ビジネスの他地域展開数	地域	8	8	21	5
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R6年度決算)	② コストの推移	単位	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(決算)	R7年度(計画)	
・旅費 160千円 ・委託費 17,600千円(運営・CN配置) ・委託費 396千円(サイト保守) ・負担金 7,700千円(LV協議会) 合計 25,856千円	財源内訳	国庫支出金	千円	11,176	11,836	12,848	14,420
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	11,211	11,944	13,008	14,501
		一般財源	千円				
	事業費計	千円	22,387	23,780	25,856	28,921	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	Seedラボでは、6つのテーマでゼミが立ち上がり、ゼミ長を中心に市内各地で多くの勉強会等が開催され、266名が参加し多くの実践が生まれている。 スペシャレホープでは、3名の起業家が採択され、事業の立ち上げ・拡大に向けて取り組んだ。 起業型地域おこし協力隊については、新たに2名が着任し、地域の関係者とのつながりをつくりながら起業に向けて取り組んでいる。また、令和7年度採用の隊員募集を行い、新たに1名の採用を決定した。
② 事業実施するうえでの課題	Seedラボによる起業家のコミュニティにおいて事業化にむけての協議・勉強会を実施しているが、事業の立ち上げにつなげない。 スペシャルチャレンジ・ホープの申請件数が目標数に達していないため、案件の掘り起こしを行っていく必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	令和6年度から、Seedラボとして、地域内の先輩起業家を中心に事業家・実践者同士での学び合いの場が出来た。この場を活かした起業家・実践家の連携により、人材育成および事業の立ち上げを推進することで、スペシャルチャレンジ・ホープの案件にもつなげていく。

総合計画体系	事務事業名	起業型地域おこし協力隊配置事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
	施策名	〈08〉チャレンジが生まれるまち(人材の育成・確保)	所属G	チャレンジ創生G	課長名	鳥谷 健二
	基本方針	〈023〉誰もが挑戦しやすい環境づくりに取り組みます。	担当者名	武田 堅治	電話番号	0854-40-1011 (内線) 2332
	重点テーマ	〈0023〉チャレンジ支援制度の充実・強化	予算科目	会計 0 1 1 0 0 3 項 目 0 5 6 5 1 6	大事業名	定住対策促進事業 中事業名 起業型地域おこし協力隊配置事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
社会起業家を志す若い人材	雲南市のまちづくりに貢献してもらう
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (R5 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルビジネスの起業に挑戦したい若者を全国から募集し、優秀な事業プランの提案者には、起業型地域おこし協力隊制度を活用し、その実現に向けた支援を行う。 ・社会課題の解決をめざす人材を確保し、地域外からの起業家と雲南の事業家との相乗効果により、地域課題解決に資する新たな事業創出を図る。
④ 主な活動 R6年度実績(R6年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
<ul style="list-style-type: none"> ・全国から起業家を募集 ・起業家の伴走サポート ・各協力隊のプランの実現に向けた支援 ・実践報告会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業者や地域自主組織との協働の取り組みが行われるように、協力隊の活動への理解促進を図った。

(2) 事務事業の成果指標

成果指標	単位	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(実績)	R7年度(計画)
地域(社会)課題解決に資する新事業創出数	件	-	0	2	2
分野横断で実践、実証するプロジェクト数	件	-	2	2	1
ア					
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R6年度決算)		② コストの推移		単位	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(決算)	R7年度(計画)
委託料	11,181千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
活動補助金	6,969千円		県支出金	千円				
合計	18,150千円		地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円			18,150	24,420
			事業費計	千円	0	0	18,150	24,420

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家地域おこし協力隊を令和5年度2名、令和6年度2名新たに採用した。 ・協力隊がゲストハウスを整備し、地域とゲストが交流し、関係人口として新たに131名が参加した。 ・販路拡大やまちなか再生など地域と協働して取り組む事例が生まれている。
② 事業実施するうえでの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の社会起業家との相乗効果を高める取組みが必要。 ・任期満了後、自走する仕組みづくり。
③ 課題解決に向けた改革改善等	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、重点領域における事業家コミュニティを育成し、地域内の起業家・事業家との連携・学び合いの中から、地域への波及効果を高めるように支援していく。